

平成27年度決算の概況

(1) 総括事項

下水道事業は、汚水の排除による公衆衛生の向上や川や海など公共用水域の水質の保全を図るとともに、雨水排除により浸水から市民の生命・財産を守るなど、衛生的で快適な生活環境と安全な市民生活を支える上で重要な役割を担っています。

このため、平成27年度においても平成24年度に策定した「岡山市下水道事業経営計画」に基づき事業を実施しました。

今後とも、14万人の市民の未普及状況の早期解消に向けた下水道整備の推進、下水道・河川が連携した浸水対策の推進、老朽化する下水道施設の改築や耐震化を推進するとともに、使用料収入や国の交付金を活用し安定した収入を確保することにより、持続的な下水道事業運営を図り、快適で安全・安心なまちづくりに貢献します。

ア 下水道の普及状況

事 項	平成27年度	平成26年度	増 減	対前年度比(%)
処理区域内人口(人)	470,866	467,220	3,646	100.8
汚水処理戸数(戸)	149,703	147,228	2,475	101.7
年間有収水量(千 m^3)	51,690	51,401	289	100.6
普及率(%) ※1	65.5	65.1	0.4	—

※1 以外は農業集落排水事業を含む。

イ 建設改良事業

a 未普及対策

① 汚水管幹線工事

旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区においては、一宮幹線・笹ヶ瀬左岸幹線などの整備に、旭川以東の岡東処理区においては、上道幹線・西大寺幹線の整備に取り組みました。

② 面的整備工事

庭瀬・妹尾・撫川・久米・横井上・檜津地区など旭川以西の児島湖流域下水道関連処理区などの整備や、江並・楳東町・桑野・東平島・高島新屋敷・乙多見・西大寺射越地区など旭川以東の岡東及び吉井川処理区などの整備に取り組みました。

b 浸水対策

雨水排除能力をより高めるため当新田ポンプ場の雨水ポンプを増設するとともに、西排水区、浦安排水区の雨水渠整備に取り組み、芳田排水区の雨水管整備に着手しました。

c 耐震化・長寿命化対策

国の長寿命化支援制度を活用した天瀬ポンプ場及び岡東浄化センターの改築更

新工事および旭西排水センターの放流渠耐震化工事に取り組みました。

また、老朽化した管きよの更生工事及び重要な幹線管きよの耐震化調査にも取り組みました。

ウ 維持管理

本年度は約 6,500 万^mの汚水を処理するとともに、約 300 万^mの雨水を排除しました。処理場やポンプ場においては日常の管理の中で定期的な点検や法令点検、整備などを実施し、消耗、老朽化した部品については取り換えを行うなど必要な修繕を計画的に行いました。また、管きよについても計画的に点検調査を行うとともに、清掃や修繕を行いました。

エ その他の取り組み

社会情勢の変化などをふまえ、平成 28 年 3 月に新たな下水道事業経営計画を策定しました。また、浸水や地震の災害に備えて、新しく導入した携帯通信網を利用し、安否・召集確認システムを組み入れた下水道 BCP（業務継続計画）訓練などを行いました。

オ 財政状況

本年度の財政状況については、収益的収支では、事業収益 20,257,281 千円に対し、事業費用 20,257,281 千円で、この結果、収支差引 0 円となりました。

次に、資本的収支では、収入額 16,283,801 千円から翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 160,684 千円を除くと、当年度の収入が 16,123,117 千円、これに対する支出額 22,326,166 千円となり、この結果、収支差引 6,203,049 千円の不足額を生じましたが、内部留保資金などで補てんしました。

以下のグラフは下水道事業の決算状況を性質別に示したものです。

